

9:00～10:00 特別講演 02

高齢社会の医療介護におけるリハビリテーションケアの役割

座長：斉藤 正身（医療法人真正会 霞ヶ関南病院 理事長）

演者：松田 晋哉（福岡国際医療福祉大学 ヘルスサービスリサーチセンター 所長）

10:10～11:10 特別講演 03

「動かしてなんぼ」の神髄

座長：勝田 紘史（はあとふるグループ 副理事長）

演者：田島 文博（和歌山県立医科大学 名誉教授 / ちゅうざん病院 理事長・院長）

11:20～12:10 教育講演 10

動きを診る、全身を診る、チームで診る
～スポーツ医学に学ぶ、地域医療・介護連携の極意～

座長：佐竹 信爾（はあとふるグループ 運動器ケア しまだ病院 院長）

演者：黒川 大介（はあとふるグループ 運動器ケア しまだ病院 肩肘センター長）

動きを診る、全身を診る、チームで診る
～セラピストの視点から～

座長：佐竹 信爾（はあとふるグループ 運動器ケア しまだ病院 院長）

演者：村木 孝行（はあとふるグループ 運動器ケア しまだ病院 リハビリテーション部 副部長）

13:20～14:50 主催団体企画シンポジウム 06

主催：NPO 法人 日本リハビリテーション看護学会

看護師が動く・チームが動く
ー患者の描く未来を支えるリハビリテーション看護ー

座長：新林 正子

森河 琴美（医療法人溪仁会法人本部）

演者：坂野ゆかり（西広島リハビリテーション病院）

小泉 千秋（神奈川県総合リハビリテーション事業団 地域リハビリテーション支援センター（神奈川県リハビリテーション支援センター））

河合 皓太（富山大学 上市・地域医療支援学講座）

15:00 ～ 16:30 主催団体企画シンポジウム 07

主催：全国地域リハビリテーション研究会

大東市の地域リハの歴史とこれから

座長：逢坂 伸子（大東市長）
柳 尚夫（岐阜県精神保健福祉センター 所長）
演者：寺岡 洋子（社会福祉法人大東コスモス福祉会 施設長）
入野 洋子（当事者）
入江 智子（株式会社コーミン）

第 2 会場（3F 展示ホール F）

9:00 ～ 10:30 主催団体企画シンポジウム 04

主催：全国地域リハビリテーション支援事業連絡協議会

行政スタッフへの地域リハビリテーション的支援のあり方を考える ～都道府県支援モデル事業の成果を踏まえて～

座長：松坂 誠應（一般社団法人是真会 長崎リハビリテーション病院 / 全国地域リハビリテーション支援事業連絡協議会）
大串 幹（兵庫県立リハビリテーション中央病院）
演者：岡持 利亘（医療法人真正会 霞ヶ関南病院 地域リハ・ケアサポートセンター）
高柳 公司（医療法人社団東洋会 池田病院）
三宅 貴志（東広島市健康福祉部 地域包括ケア推進課 / 東広島市基幹型地域包括支援センター）

10:40 ～ 12:10 主催団体企画シンポジウム 05

主催：一般社団法人 日本訪問リハビリテーション協会

介護支援専門員に必要とされるセラピストとは？ ～介護支援専門員のことをきちんと知ろう！～

座長：大塚 英樹（公益社団法人地域医療振興会 公立黒川病院）
演者：濱田 和則（公益社団法人 大阪介護支援専門員協会 会長）
永末 努（みらいコーポレーション株式会社）
角田 直美（あうん訪問看護ステーション）

13:20 ～ 14:20 特別講演 04

超高齢社会における地域でのリハビリテーションへの期待

座長：近藤 国嗣（（医）保健会 東京湾岸リハビリテーション病院 院長）
演者：堀 裕行（厚生労働省老健局 老人保健課長）

15:00 ～ 16:30 市民公開講座

動いてナンボ！～自分らしく生きるためのはじめの一步～

総合司会：原田 伸郎（あのねのね）

ファシリテーター：島田 永和（はあとふるグループ 代表）

松浦 成昭（大阪国際がんセンター 総長）

第3会場（8F 第1・2会議室）

9:00 ～ 10:30 開催地企画シンポジウム 04

知りおうてナンボ・寄りおうてナンボ：人との交流が生む回復の力

座長：藤井由記代（森之宮病院）

演者：高野 直也（社会医療法人ペガサス 馬場記念病院 事務部）

長塚 美和（LITALICO ワークス大阪天王寺）

山下 久美（大阪府立障がい者自立センター）

伊藤 琢二（はあとふるグループ 介護老人保健施設悠々亭 介護部 副部長）

10:40 ～ 12:10 JRAT シンポジウム

JRAT のこれから ～令和6年度老人保健健康増進等事業を踏まえて～

座長：近藤 国嗣（（医）保健会 東京湾岸リハビリテーション病院 院長）

菊地 尚久（千葉県千葉リハビリテーションセンター センター長）

演者：三上 幸夫（広島大学病院 リハビリテーション科 教授）

川上 途行（慶應義塾大学医学部リハビリテーション医学教室 / 東京湾岸リハビリテーション病院）

富岡 正雄（JRAT 研修企画委員会 / 愛仁会 尼崎だいまつ病院）

菊地 尚久（千葉県千葉リハビリテーションセンター）

12:20 ～ 13:10 ランチョンセミナー 6

共催：WHILL 株式会社 / 株式会社ダスキン

家族や介助者の負担軽減と QOL 向上を叶える外出支援

座長：廣瀬 美緒（WHILL 株式会社 マーケティング部）

演者：池田 朋宏（WHILL 株式会社 執行役員モビリティセールス本部本部長）

坂本 記史（株式会社ダスキン ヘルスレント事業部サービス開発室）

13:20 ～ 14:30 教育講演 11

リハ・口腔・栄養の三位一体

座長：菅原 英和（医療法人社団 輝生会 初台リハビリテーション病院 院長）

演者：若林 秀隆（東京女子医科大学病院リハビリテーション科）

第 6 会場 (2F 展示ホール B-1)

12:20 ～ 13:10 ランチョンセミナー 7

共催：川村義肢株式会社／パシフィックサプライ株式会社

最近の義足リハビリテーション — 切断から社会復帰までの流れ —

座長：沢田光思郎（京都府立医科大学附属病院 リハビリテーション部 副部長（准教授））

演者：加藤 弘明（三重北医療センター菰野厚生病院／日下病院）

福祉機器の進化をエンジニアリングがリードする時代

座長：沢田光思郎（京都府立医科大学附属病院 リハビリテーション部 副部長（准教授））

演者：松田 靖史（大阪公立大学）

13:20 ～ 14:10 教育講演 12

患者と医療者のコミュニケーション

座長：島田 永士（はあとふるグループ 常務理事）

演者：山口 育子（認定 NPO 法人ささえあい医療人権センター COML）

第 7 会場 (2F 展示ホール B-2)

12:20 ～ 13:10 ランチョンセミナー 8

共催：ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社

クリニックにおける人工関節リハビリテーション — ERAS で満足度向上と 1 週間入院を目指して —

座長・演者：横山 徳一（大室整形外科脊椎関節クリニック 副院長）

演者：境 崇志（大室整形外科脊椎関節クリニック 理学療法士）

一般演題（口述）プログラム

2日目 11月22日（土）

第4会場（8F 第3会議室）

9:00～9:50 [O13 高次脳・コミュニケーション障害・認知リハ]

座長：井上 典子（初台リハビリテーション病院 マネジャー）

村瀬 文康（株式会社ジェネラス 訪問看護ステーションほたるみどり 主任）

O13-1 脳卒中により高次脳機能障害を呈し移乗・移動に困難を来した患者に対する自己教示法を用いた看護介入の検討 ～排泄場面を用いて～

山浦 琢弥（誠愛リハビリテーション病院）

O13-2 回復期リハビリテーション病棟における個別リハ ～介護福祉士の専門性を活かして～

上村 卓也（東大阪生協病院 回復期リハビリテーション病棟）

O13-3 ブローカ失語症を有している患者の不安に対する看護
～症候性癲癇発作に対しての不安軽減への関わり

阿南 拓朗（社会福祉法人農協共済別府リハビリテーションセンター）

O13-4 早期からの試行錯誤学習が記憶障害患者の病識を高め職業準備性スキルの獲得に至った症例

佐川 練（社会医療法人 千秋会 井野口病院）

O13-5 「受傷3年後に自己洞察と感情制御が可能となり、家族関係が改善した高次脳機能障害の一例」

前田 博子（医療社団法人和風会 千里リハビリテーション病院）

10:00～10:50 [O17 ADL・IADL ②]

座長：飯塚 哲史（江戸川メディケア病院 作業療法副主任）

永井 信洋（わかくさ竜間リハビリテーション病院 課長）

O17-1 当院における早出・遅出リハビリの現状と課題

花岡 葉子（一般財団法人 黎明郷 弘前脳卒中・リハビリテーションセンター）

O17-2 当院回復期リハビリテーション病棟における早出介入効果

田中 精一（みらいリハビリテーション病院）

O17-3 歩行自立チェックシートの改良を目指して
- 高次脳機能障害・認知機能障害を加味した評価法の検討 -

林 瑞熙（医療法人和同会 宇部西リハビリテーション病院）

O17-4 回復期リハビリテーション病院における車椅子駆動自立の予後予測モデルの作成
～入院時のデータから決定木分析を用いた検討～

中村 星弥（鶴飼リハビリテーション病院）

O17-5 移動形態スコアの開発と妥当性の検討 - 移動介助スコア構成に向けた基礎的検討 -

秋吉 祐也（医療法人財団 聖十字会 西日本病院）

座長：中村 友美（京都近衛リハビリテーション病院）

武田 有加（西宮協立リハビリテーション病院）

O21-1 特定保健指導による早期介入の効果—要介護予防の視点からの検討

千葉 彩香（医療法人永井病院）

O21-2 回復期リハビリテーション病棟において、やせ型の2型糖尿病患者の体重増加を狙いSGLT2阻害薬を減量・中止した経験

森 憲司（岩砂病院・岩砂マタニティ リハビリテーション科）

O21-3 誤嚥性肺炎再発における栄養・炎症・血液指標の関連性の後方視的検討

久保田雅大（医療法人和光会 山田病院 リハビリテーション部）

O21-4 介護老人保健施設におけるおやつイベントの効果に関する一考察

矢野 知子（はあとふるグループ 介護老人保健施設 悠々亭）

O21-5 管理栄養士の退院支援 ～在宅訪問栄養食事指導に繋げる～

石田 晴夏（医療法人深仁会札幌西円山病院）

座長：北郷 仁彦（千葉県千葉リハビリテーションセンター 副部長）

栢瀬 大輔（社会医療法人生長会 阪南市民病院 技師長補佐）

O25-1 免荷歩行器「POPO」導入による高齢者の歩行練習支援とその効果

多田 遼河（医療法人常磐会いわき湯本病院）

O25-2 リハ機器（安全懸架式リハビリテーションリフト TG-1000）導入における課題や今後の展望について

下本 昂平（特定医療法人成仁会 くまもと成仁病院 理学療法科）

O25-3 デイケアにて歩行練習支援ロボットを使用し歩行能力が改善した生活期脳卒中の1例

中村 勇介（藤田医科大学七栗記念病院 リハビリテーション部）

O25-4 パーキンソン病患者の歩行、バランス機能に対する視覚的フィードバックトレッドミルの有効性

田中 恭介（聖十字会西日本病院 総合リハビリテーション部）

O25-5 小脳出血に対し mediVR カグラ[®]を使用した症例

吉永 真唯（社会医療法人至仁会圏央所沢病院）

座長：梶岡早弥佳（アマノ病院 課長）

大池 義明（医療法人社団 福寿会 慈英会病院 室長）

O28-1 高次脳機能障害に対する外来リハの就労支援実態と復職支援モデルの検討

市川 彩湖（近森リハビリテーション病院）

O28-2 脳挫傷後の高次脳機能障害者に対して当院外来と就労支援機関の連携により復職に至った一例

山本 紺里（初台リハビリテーション病院）

O28-3 回復期リハビリテーション病棟での復職支援に関する症例検討

成松 眞希（社会医療法人 敬和会 大分リハビリテーション病院）

O28-4 “病気になっても働きたい”を叶えるために

加田 樹里（社会医療法人ペガサス 馬場記念病院）

O28-5 IADL 訓練から職務課題へつなげる復職支援の実践

～若年・高次脳機能障害者への段階的介入～

榊原智佳子（浜松市リハビリテーション病院）

座長：一宮 禎美（NTT 東日本伊豆病院 看護部長）

吉川 創（わかくさ竜間リハビリテーション病院 特任課長）

O32-1 有床診療所だからできる効果的な生活リハビリの実践 ～フェニックス式リハビリ戦略～

井戸 宏明（特定医療法人フェニックスフェニックス総合クリニック）

O32-2 夜間帯のリハビリテーション介入の試み

中崎 綾乃（福岡和白病院）

O32-3 病棟レクリエーションにおける病棟スタッフとの協働 ～「意味ある離床」を目指して～

青木 健太（衣笠病院）

O32-4 地域包括ケア病棟における集団起立運動の実践と効果

岡本 広豊（はあとふるグループ 八尾はあとふる病院）

O32-5 主体性回復と参加に繋げる集団でのリハビリテーション

河原 祐貴（医療法人珪山会 鶴飼病院）

第5会場 (8F 第6会議室)

9:00～9:50 [O14 認知症・若年性認知症・MCI]

座長：佐藤 勇樹 (戸畑リハビリテーション病院 副主任)

沼田 一成 (奈良東病院 リハビリテーション科 統括科長)

O14-1 大腿骨近位部骨折術後患者における認知機能障害の重症度別にみたセルフケア能力の縦断的検討

加世田 怜 (社会医療法人長崎記念病院 リハビリテーション部)

O14-2 認知症を呈し、日中の傾眠傾向に伴い活動性が低下している症例に対して休息と活動のバランスに焦点を当てた作業療法支援

篠原 彩希 (IMS <イムス>グループ イムス横浜東戸塚総合リハビリテーション病院)

O14-3 アルツハイマー型認知症を合併した高齢不全脊髄損傷者に対する視覚の手がかりを用いた自助具介入によるADL支援

堀 誠也 (京都民医連あすかい病院)

O14-4 プロンプト・フェイディング法を用いて洗体動作が自立したMCI患者

奈良岡美咲 (津軽保健生活協同組合 健生病院)

O14-5 感覚性失語を伴う認知症患者に対する看護実践

～コミュニケーションに難渋し、ケアをすべて拒否した1事例～

中津 春美 (医療法人社団 南淡千遙会 神戸平成病院)

10:00～10:50 [O18 運動器疾患・運動器ケア等]

座長：本田 竜也 (はあとふるグループ 運動器ケア しまだ病院 マネジャー)

北尾 智之 (社会医療法人千秋会 井野口病院 係長)

O18-1 運動器疾患患者におけるリハビリテーション参加意欲の変化が身体機能と日常生活活動との関連：回復期病棟における後方視的研究

菊地 康希 (IMS (イムス) グループ イムス札幌リハビリテーション病院)

O18-2 円背姿勢を呈する患者に対し体幹伸展運動を行い立位姿勢が改善し歩行形態が向上した症例

柳田 竜稀 (アマノリハビリテーション病院)

O18-3 A R C R術後の装具と疼痛が歩行と転倒リスクに与える影響 一年齢別検討

上村 亜矢 (まび記念病院)

O18-4 上腕骨近位端骨折術後に生じた橈骨神経領域の疼痛・知覚障害に対し エコーを用いた介入が奏功した1症例

高橋 誓太 (HITO 病院)

O18-5 行動医学的アプローチとして痛み日誌を用いたことにより、運動療法が効果的に実施可能となった症例

妹尾 佑輝 (医療法人社団 銀緑会 みどり野リハビリテーション病院)

座長：田中 康之（千葉県千葉リハビリテーションセンター 地域リハ推進部長）
矢野 浩二（小倉リハビリテーション病院 リハビリテーション部長）

- O22-1 広島県の地域リハビリテーションの取り組みの経過
～住民の「やりたい」を支援してみえてきたもの～
三宅 神奈（一般社団法人地域・ひと・LIFE サポート広島）
- O22-2 認知症初期集中支援チームにおけるリハ専門職の役割と実践的価値
大住 崇之（医療法人社団松恵会けやきトータルクリニック）
- O22-3 合言葉「転倒骨折しないようにしようね！」
～地域医療介護総合確保基金（医療分）を活用した周知啓発活動について～
竹内 久美（医療法人堀尾会 熊本託麻台リハビリテーション病院）
- O22-4 「川越市地域包括ケア自立支援事業」を通じてみえた支援者側が考えている課題と、今後の展望
石動 恭平（埼玉県地域リハビリテーション・ケア サポートセンター 霞ヶ関南病院）
- O22-5 当センターにおける回復期リハ退院後の地域包括ケアの取り組み
ーツイントラックアプローチによる継続支援体制の構築ー
松原 徹（医療法人社団 輝生会 法人本部）

座長：北岡 秀朗（株式会社 MARU 代表取締役 / 理学療法士）
宮武 慎（社会医療法人 生長会 府中病院 主任）

- O26-1 患者の想いが形になった日常生活に合わせた3Dプリンター自助具の可能性
中村 和美（関西電力病院）
- O26-2 退院後の「参加」を支える日帰り旅行の試み
～患者・家族会の活動再開とその意義～
小林 一樹（健育会 竹川病院）
- O26-3 医療療養病棟における介護職の役割 ーチームで支える、その人らしい生活ー
松本 一美（医療法人真正会霞ヶ関南病院）
- O26-4 回復期病棟における騒音とは ～騒音と療養環境の改善に関して～
大熊 勇人（ねりま健育会病院 看護部）
- O26-5 病院併設のメディカルフィットネスジムにおける会員のサポート体制強化
- その人らしく生きるためカラダもココロも健康に！ -
武田 仁美（はあとふるグループ Eudynamics ヴィゴラス）

座長：田川 勇蔵（小倉リハビリテーション病院 臨床サービス部 リハ課長代理）

並木 幸司（社会医療法人財団慈泉会相澤病院回復期リハ 主任）

**O29-1 脳血管障害後の運転再開支援が復職に繋がった一症例
～ QOL（生活の質）の再構築に着目して～**

比嘉 琢斗（北中城若松病院 回復期リハビリ病棟）

O29-2 コーディネーション・トレーナー（CDT）の活用により注意機能が向上し、運転再開に至った症例

濱野 莉彩（イムス横浜旭リハビリテーション病院）

**O29-3 運転再開困難事例に対する移動支援の取り組み
～地域資源を活用した社会参加の促進～**

三澤 陵（医療法人 銀門会 甲州リハビリテーション病院）

O29-4 回復期リハビリテーション病院における実車評価時の運転行動が運転再開に影響する要因

梅崎 義久（社会医療法人財団 池友会 香椎丘リハビリテーション病院）

O29-5 当院の自動車運転再開支援の取り組み ～ 教習所との連携から見えてきた課題と今後の展望 ～

吉田美紀子（御野場病院 リハビリテーション部）

座長：奥本 充（伊予病院 係長）

嶋田 芳彦（はあとふるグループ ソーシャルワーク部 部長）

O33-1 当院におけるノルディックウォークを用いた運動療法の即時効果の検討

森 幸一（社会医療法人財団白十字会 耀光リハビリテーション病院）

O33-2 ポリファーマシー対策チームでの理学療法士の役割

長田 真一（NTT 東日本伊豆病院）

O33-3 回復期リハビリテーション病棟における看護計画マスタの見直し

山下 淑子（彩都リハビリテーション病院）

O33-4 当院回復期リハビリテーション（A）病棟の患者カンファレンスを活性化する取り組み

村田 美保（豊中平成病院）

**O33-5 医療機関における地域貢献活動の持続可能性一補助金・助成金活用による「資金を理由に諦めない」
取り組みの一考察**

加藤 彩芳（医療法人溪仁会 札幌西円山病院）

第 6 会場 (2F 展示ホール B-1)

9:00 ~ 9:50 [O15 通所系サービス②]

座長：山本江吏子（介護老人保健施設 鴻池荘 リハビリテーション部 課長）

山本 恵子（アマノ病院 地域リハビリテーション広域支援部 課長）

O15-1 当院高齢通所リハビリテーション利用者における要支援から要介護に介護度が変更になる要因の検討

大木元祐太（医療法人きたじま倚山会 TAOKA 通所リハビリセンター 北島）

O15-2 通所介護施設における転倒発生状況の傾向分析

—ISO 事故報告書を用いて—

土本 真（リハビリテーション・予防医学研究部門、株式会社ジェネラス／通所介護部門（GENTEN・楽音・暁音・森音）、株式会社ジェネラス）

O15-3 通所リハビリ利用者のTUGによる転倒リスク予測におけるカットオフ値の再検討

岩井はる菜（ベルピアノ病院）

O15-4 通所リハビリテーションでの口腔・栄養スクリーニングの導入と実施について

田中 伸枝（はあとふるグループ 八尾はあとふる病院）

O15-5 高齢者の退院から通所リハビリテーション開始までの日数が身体機能に及ぼす影響

—TUG 変化量に着目して—

唐川 佳明（倉敷記念病院 通所リハビリテーション）

10:00 ~ 10:50 [O19 脳卒中・神経疾患・心臓疾患等②]

座長：齋藤 謙二（大阪府済生会大阪北リハビリテーション病院 主任）

望月 輝己（森之宮病院 看護部 主任）

O19-1 回復期病棟入院中に経頭蓋直流電流刺激（tDCS）と上肢リハビリテーションを併用し復職に向けて上肢機能改善を目指した1例

吉本 修一（京都近衛リハビリテーション病院）

O19-2 入院時臨床指標による退院時運動 FIM 予測：線形回帰と勾配ブースティング回帰の比較

橋本 拓也（五反田リハビリテーション病院）

O19-3 「立って座る」の繰り返しは移乗を変えるか？ —回復期病棟での実践から—

門部 仁（香川医療生活協同組合 高松協同病院）

O19-4 慢性期脳卒中患者における視覚フィードバックトレッドミル訓練の障害物回避率の効果

光多 功（西日本病院）

O19-5 回復期リハ病棟入院時の栄養状態がtent下病変における高次脳機能障害に及ぼす影響について —傾向スコアマッチングによる検討—

前田 亮介（社会医療法人雪の聖母会 聖マリアヘルスケアセンター リハビリテーション室）

座長：石井 悠也（霞ヶ関南病院 主任）

太田 直樹（千葉県千葉リハビリテーションセンター 地域リハ推進部）

O23-1 岩手県におけるシルバーリハビリ体操フォローアップ研修会の意義と今後の展望

渡部 祐介（いわてリハビリテーションセンター）

O23-2 老健ハビリスが繋げる地域の輪

～老健施設だからできる！顔の見える関係はアセスメントへの近道～

池田 浩美（介護老人保健施設ハビリス）

O23-3 地域住民を健康な時から支える当法人の取り組み

國井 崇洋（医療法人 博仁会）

O23-4 自宅退院後アンケートより顧みる回復期リハビリテーションの支援

倉林泰士郎（戸田中央リハビリテーション病院）

O23-5 回復期リハビリテーション病棟退院後の訪問リハビリテーションにおける具体的な介護負担を把握するための取り組み

嶋 定清（社会医療法人甲友会 西宮協立リハビリテーション病院）

座長：庄司 和行（西宮協立リハビリテーション病院 主任）

田川 綾（秋津鴻池病院 リハビリテーション部 課長）

O30-1 セラピストマネジャーの専従配置が ADL 能力に及ぼす影響

稲垣 京司（社会医療法人河北医療財団河北リハビリテーション病院）

O30-2 当院における職員腰痛予防チームの取り組みと成果

橋本 拓哉（はあとふるグループ 八尾はあとふる病院）

O30-3 PT・OT・ST チームミーティングの運用実態 ―職種別議論の傾向と課題―

工藤 章（医療法人秀友会 札幌秀友会病院 リハビリテーション科）

O30-4 心理的特性に基づくメンターマッチングによる新人看護師の離職予防

高橋 絢子（香椎丘リハビリテーション病院）

O30-5 演題取り下げ

座長：伊東 惟（小平中央リハビリテーション病院 科長代理）
橋本 篤（阪南市民病院 リハビリテーション室 主任）

O34-1 病期別にみた PD 患者の非運動症状と FIM との関連

佐藤 良紀（医療法人深仁会 札幌西円山病院）

**O34-2 IMU センサーを用いた活動量計測システムから推定した活動量の妥当性検証
- パーキンソン病患者 1 例を対象とした予備的検証 -**

若尾 日和（藤田医科大学病院リハビリテーション部）

O34-3 リハビリ実施例における顔面神経麻痺症例の年齢と改善日数の有意差の検討

染谷 亮（丸山記念総合病院／株式会社エラブル 訪問看護リハビリステーション ざいたくサポート木場）

**O34-4 リハビリテーション専門職による心不全患者支援の取り組み
～ケアミックス病院での実践～**

福留 拓（東海記念病院）

O34-5 高強度インターバルトレーニングを導入し山登りが再開できた症例

伊東 剛志（はあとふるグループ 八尾はあとふる病院）

第 7 会場（2F 展示ホール B-1）

座長：堀田 明人（医療法人健和会 奈良東病院 リハビリテーション科 主任）
藤平健太郎（わかくさ電間リハビリテーション病院 リハビリテーション部 特任課長）

O16-1 KT バランスチャートを使用した経管栄養患者が経口摂取へ移行する要因の検討

田村 憲祐（社会医療法人愛仁会 愛仁会リハビリテーション病院）

**O16-2 回復期リハビリテーション病院に入院中に脳梗塞を発症し、経管栄養となったが経口摂取回復した
症例**

堀江 祐希（十条武田リハビリテーション病院）

O16-3 不顕性誤嚥があるも完全経口摂取移行に至った症例

福田 侑起（社会医療法人 愛仁会 尼崎だいもつ病院）

O16-4 訪問 ST の長期的な関わりによって日常的な経口摂取が可能となった重度嚥下障害症例

杉上 文音（兵庫医科大学ささやま医療センター リハビリテーション室）

O16-5 経口摂取困難から自力摂取獲得に至った基底核梗塞の一例

藤倉 大智（苫小牧東病院）

座長：森川 純（御所南リハビリテーションクリニック 主任）

北村 夏子（偕行会リハビリテーション病院 課長）

O20-1 「回復期リハビリテーション治療を行った ICU-AW の一例」

伊藤 凜（熊本託麻台リハビリテーション病院）

O20-2 重複障害を有する高齢廃用症候群患者に対し、回復期リハビリテーション病院での ADL・QOL 向上に向けた多職種介入の一例

嘉寺 真生（竹川病院）

O20-3 気管カニューレ抜去における ST の段階的介入と多職種連携の意義

坂田 浩実（社会医療法人甲友会 西宮協立リハビリテーション病院）

O20-4 意識障害を伴う重度片麻痺患者に対する目標設定と多職種連携の重要性

山根 奈々（岡山リハビリテーション病院）

O20-5 歩行獲得に難渋した左大腿切断患者の治療経験

鶴崎 智司（社会医療法人雪の聖母会 聖マリアヘルスケアセンター リハビリテーション室）

座長：大村 真理（アミノ病院 看護主任）

出口 貴能（京都大原記念病院 副主任）

O24-1 回復期病棟退院後のフォローアップ支援と今後の展望について

宮崎 大樹（鎌倉リハビリテーション聖テレジア病院）

O24-2 回復期リハビリテーション病棟から自宅退院した患者の ADL の行方―退院後訪問した 2 事例を通して

梅原 健一（南医療生協かなめ病院）

O24-3 ICF の活用に向けた当院の取り組みについて

和田八千代（はあとふるグループ 八尾はあとふる病院）

O24-4 回復期リハビリテーション病棟からの退院後のリハビリテーション継続～退院後の生活再構築のためのリハ介入の有効性～

神野 一剛（医療法人堀尾会 熊本託麻台リハビリテーション病院）

O24-5 訪問リハ職員が退院・退所前訪問へ同行する取り組みから得られたこと

副島 希望（医療法人共和会 小倉リハビリテーション病院）

座長：押川 千恵（大阪府済生会大阪北リハビリテーション病院 看護師長）

鈴木加奈子（脳神経センター大田記念病院 回復期リハビリテーション病棟 師長）

**O27-1 看護要員が身体抑制を解除できると判断している要因
～アンケート調査を通して～**

齋藤 和城（群馬リハビリテーション病院）

O27-2 回復期病棟でのリハビリテーション中に発生したインシデントの発生要因の検討

丹波 祐哉（花川病院）

**O27-3 リハビリテーション場面における医療系熟練者の危険予知能力の特徴
－ TP-KYT 内部疾患 ver. 移乗場面作成への質的研究－**

蘭 文雄（社会医療法人財団 池友会 香椎丘リハビリテーション病院）

**O27-4 多職種混合部署の 2024 年度 KYT チームの取り組み
～ヒヤリハットの共有により患者の安全な生活を目指して～**

山田 淳樹（三九朗東リハビリテーション病院）

O27-5 悪性腫瘍患者での深部静脈血栓症発見の手がかり：リハビリテーション担当者からの提言

西川 昌利（社会医療法人ペガサス 馬場記念病院）

座長：三堂 陽一（大阪府済生会泉尾病院 課長）

関 直哉（静岡リハビリテーション病院リハビリテーション部 リーダー）

O31-1 オーラルフレイル予防活動における自主トレーニング実施状況の変化と今後の課題

鈴木 ゆい（学校法人常葉大学 常葉大学リハビリテーション病院）

**O31-2 ADL が自立している地域在住高齢者の身体機能と転倒との関係
－高い身体機能をもつ高齢者にも注意が必要－**

石井 禎基（姫路獨協大学医療保健学部）

**O31-3 シルバーリハビリ体操指導者における体操活動に対する意識調査報告
～交流会での意見交換会から～**

青山 祐（いわてリハビリテーションセンター）

O31-4 羽曳野市における短期集中通所型サービスの取り組み

千葉 晃子（はぁとふるグループ 介護老人保健施設 悠々亭）

**O31-5 役割ある社会参加を促進する就労的活動支援事業の現状と展望
～リハビリサービスとの協働の可能性～**

枋 紀男（医療法人社団 永生会）

座長：片桐 直也（医療法人財団善常会 善常会リハビリテーション病院 リハビリテーション部 主任）

馬場 博文（医療法人社団健芯会 ライフクリニック 訪問リハビリテーション部 部長）

O35-1 訪問リハビリテーションの関わりにより、ケアハウスから自宅復帰した一症例

星山 望（社会福祉法人こうほうえん 錦海リハビリテーション病院）

O35-2 脳性まひ児 1 症例における活動と参加を目的とした訪問看護によるリハビリテーションの介入報告

大門 守雄（兵庫県立総合リハビリテーションセンター総合リハ訪問看護ステーション）

O35-3 訪問リハビリテーション利用者に対する口腔の健康状態の評価の実施について

本間 由華（医療法人社団哺育会 桜ヶ丘中央病院）

O35-4 訪問看護 I5 における主治医との連携

～バイタルリンクを活用した事例～

岩佐 学（社会福祉法人 有誠福祉会 まこと訪問看護ステーション）

O35-5 電子連絡帳を活用した多職種連携について

～入所までの在宅生活を悔いなく過ごすために～

山田祥太郎（医療法人 博仁会 フロイデひたちなか訪問看護ステーション）

一般演題（ポスター）プログラム

2日目 11月22日（土）

9:00～9:50 [P06-1 チームアプローチ⑥]

座長：三政 辰徳（株式会社テツヤ リハビリ特化型デイサービス らぼプラス 管理者）

P06-1-1 回復期リハビリ病棟入院患者に対する、がんばりすぎない病棟レクリエーションの効果と課題：継続を目指す活動チームの実践報告

戸川 真樹（岡山中央病院）

P06-1-2 ここに来て良かったと思ってもらえるために
～患者を含めた多職種での話し合いを通じて～

田口 裕子（三九朗東リハビリテーション病院）

P06-1-3 回復期リハビリテーション病棟における病棟レクリエーション実施後調査の結果と展望

田中 麻夢（社会医療法人柏葉会 札幌柏葉会病院）

P06-1-4 介護付き有料老人ホームにおけるリハビリテーションの効果
～肯定的反応（笑う、楽しむ、積極的など）に着目した新たな試み～

古家 真優（株式会社ハーフ・センチュリー・モア サンシティ木津）

P06-1-5 作業療法士による脳卒中重症患者への集団活動運営と年次別にみられた思考的特徴

中島 来夢（福岡リハビリテーション病院）

9:00～9:50 [P06-2 脳卒中・神経疾患・心臓疾患等⑥]

座長：安川麻衣子（医療法人 篤友会 関西リハビリテーション病院 理学療法課 副主任）

P06-2-1 脳挫傷と急性期脳梗塞を呈した事例を通した FIM・実績指数の予測値の有用性について

今井 健人（兵庫県立リハビリテーション中央病院）

P06-2-2 在宅生活の継続を目指した筋萎縮性側索硬化症の一症例
～介護保険サービスと障害福祉サービスと多職種連携～

村上 和彦（医療法人愛健会 愛健医院）

P06-2-3 短時間通所リハにおいて身体機能の改善が見られたスティッフパーソン症候群の1例

五島 理子（医療法人畏敬会 井野辺病院総合リハビリテーションセンター）

P06-2-4 パーキンソン病と頸椎骨折の首下がりが併発しリハビリに難渋した症例

中島 啓太（医療法人 養和会 養和病院）

P06-2-5 車椅子移乗が自立した胸髄損傷完全対麻痺の高齢女性

赤井佐弥香（医療法人瑞心会渡辺病院）

座長：杉田 勇（組合立諏訪中央病院 副技術部長兼栄養科長兼経営戦略室長兼 DX 推進室副室長）

P06-3-1 生活困窮者への生活再建に向けた訪問リハビリの取り組み

田中 恵美（医療法人博光会御幸病院リハビリテーション部）

P06-3-2 訪問看護における 4 年間のインシデントデータの分析

樋脇 国昭（医療法人和同会 訪問看護ステーション ハローナース宇部西）

P06-3-3 施設から地域に移行した肢体不自由者に対する本人主体の摂食・嚥下支援

芝池美乃里（医療法人ハートフリーやすらぎ 訪問看護ステーションハートフリーやすらぎ）

P06-3-4 「参加」に繋がらなかった事例から考える訪問リハの役割と課題

明神 早甫（社会医療法人 近森会 訪問看護ステーションちかもり）

P06-3-5 総合的な支援を通して主体性が高まった若年脳卒中片麻痺症例

高階 欣晴（公益財団法人いわてリハビリテーションセンター）

座長：坂田 祥子（東京湾岸リハビリテーション病院 リハビリテーション部副部長）

P06-4-1 装具なし歩行獲得で、日中排泄自立となった脳梗塞一症例

吉田 圭佑（医療法人公人会 姫路中央病院）

P06-4-2 脳出血での入院後に自宅で転倒し再入院となったが早期退院に至った症例

須之内里奈（袖ヶ浦さつき台病院）

**P06-4-3 他者介助に特徴的な抵抗反応を示した廃用症候群の一症例
～環境設定による介入の工夫～**

森田健太郎（奈良東病院）

P06-4-4 回復期入棟患者 2 症例の一日の活動量とリハビリ中の活動量の比較：活動量向上に向けて

島田 尚哉（高井病院 リハビリテーション科）

P06-4-5 高齢回復期リハビリテーション病棟入院患者における併存疾患と栄養状態の交互作用が ADL 能力改善に与える影響

内山 圭太（金沢赤十字病院リハビリテーション科）

座長：池 康平（大阪府済生会大阪北リハビリテーション病院 部長）

**P06-5-1 当院呼吸コンサルテーションチーム発足効果と今後の課題
～呼吸器症状を有する患者の現状把握から考察する～**

梅原 靖孝（医療法人溪仁会 定山溪病院 リハビリテーション部）

P06-5-2 アンケート結果から見た呼吸コンサルチームの実績と今後の課題

南山 莉緒（医療法人溪仁会 定山溪病院）

- P06-5-3 排尿ケアチームに在籍する療法士が作成した排泄動作評価表の有用性と今後の課題
久米かすみ（定山溪病院）
- P06-5-4 若手看護師が主体的にナイトレクリエーションを開催できることをめざして
～若手看護師と習熟看護師の意識を比較して～
野村 緋（富山県リハビリテーション病院・こども支援センター）
- P06-5-5 当院における BLS 演習でのシナリオを設定したシミュレーション練習の学習効果
寺尾 侑記（亀田リハビリテーション病院看護部）

9:00～9:50 [P06-6 運動器疾患・運動器ケア等③]

座長：藤澤 太一（社会医療法人財団 慈泉会 相澤病院 回復期リハ科 主任）

- P06-6-1 リハビリ期における転倒恐怖感の実態
～整形疾患患者の経時的变化と受傷理由別関連を通して～
増田奈々子（東京都リハビリテーション病院）
- P06-6-2 運動覚を賦活することで立位バランスが向上した症例
重吉 琉希（IMS <イムス>グループ イムス横浜東戸塚総合リハビリテーション病院）
- P06-6-3 橈骨遠位端骨折術後の作業療法－対象作業を用いた動機付けと機能回復の促進
細井 謙作（光市立光総合病院 リハビリテーション科）
- P06-6-4 温泉プールを併用することで円滑に歩行を獲得した 2 症例
野上 友香（独立行政法人 地域医療機能推進機構 湯布院病院 リハビリテーション科）
- P06-6-5 化膿性椎間板炎術後の立位・歩行能力が低下した症例に対するリハビリ卒業に向けた取り組み
笹井 務旦（訪問看護ステーション MARUJ）

9:00～9:50 [P06-7 フレイル・ロコモティブシンドローム・骨粗しょう症①]

座長：森井 裕太（関西医科大学くずは病院 リハビリテーションセンター 副技師長）

- P06-7-1 回復期から訪問リハビリテーションまで、継続した身体活動量および体組成計測を実践した一例
岩丸 裕介（医療法人社団愛友会 津田沼中央総合病院）
- P06-7-2 1-2 時間型通所リハビリテーション利用者における身体機能および生活機能の変化
～転倒の有無で分類した群内比較～
長井 大悟（東京湾岸リハビリテーション病院）
- P06-7-3 当地域におけるフレイルとポリファーマシーの関連の探索的研究
亀廻井佑太（社会医療法人 豊生会 東苗穂病院 リハビリテーション部）
- P06-7-4 介護施設において骨粗鬆症治療を継続するために
階上 弘樹（医療法人仁泉会にこにこプラザみさわ）
- P06-7-5 細菌性肺炎によるフレイルを併発した患者に対して、早期から有酸素運動の実施により耐久性が向上し、自宅退院に至った症例
河野雄太郎（医療法人財団健貢会 総合東京病院 リハビリテーション科）

座長：馬崎 昇司（医療法人真正会 霞ヶ関南病院 リハビリテーション部 部長）

P06-8-1 地域リハビリテーションの実践 - まちかど保健室での活動報告と今後の展望 -

酒井 優樹（社会医療法人 生長会 ベルピアノ病院）

P06-8-2 地域高齢者の健康増進を目指した介護予防プログラムの成果 ～CS-30 テスト改善の報告～

林 修平（一般社団法人巨樹の会 下関リハビリテーション病院）

P06-8-3 千葉県地域リハビリテーション広域支援センターにおける小学校出前講座の取り組み

安達 光（医療法人社団高邦会成田リハビリテーション病院）

P06-8-4 福井県における地域包括ケアシステム体制の再考

田中奈津子（福井総合病院リハビリテーション課）

**P06-8-5 地域リハビリテーション活動支援事業への参画がもたらすりハ専門職への影響
～派遣名簿登録者へのアンケート調査より～**

相見 真吾（兵庫県地域リハビリテーション支援センター）

座長：勝谷 将史（西宮協立リハビリテーション病院 部長）

P06-9-1 海老名市認知症初期集中支援チームにおける 1 事例の支援報告

渋谷 拓郎（医療法人社団 NALU 介護事業本部兼認知症事業部・海老名市認知症初期集中支援チーム事務局）

P06-9-2 担い手育成と団体連携を目的とした東葛南部圏域での研修会の企画と実施報告（第二報）

関谷 和也（新八千代病院）

**P06-9-3 若年性脳出血にて重度左片麻痺を呈した事例に対する地域共生社会の実現
～水泳の再開について～**

村松 陽介（医療法人 銀門会 甲州リハビリテーション病院）

**P06-9-4 地域活動支援センターにおける自閉スペクトラム症（ASD）を有する方への支援
ー精神科デイケアを活用した集団力動の意義ー**

宮城 哲哉（宜野湾市地域活動支援センター TAPIC）

**P06-9-5 満足度だけでは見えない卒後交流の課題
～男女差による外出先の傾向～**

坂井 智美（社会医療法人財団慈泉会相澤通所リハビリテーションあずみの）

座長：中村 裕（医療法人信和会和光園 主任）

P06-10-1 身体拘束軽減により転倒・転落件数が増加！？ ～当院回復期病棟における転倒事例の検討～

杉田 雄大（医療法人社団哺育会 桜ヶ丘中央病院）

P06-10-2 回復期リハビリテーション病棟における身体拘束・行動制限解除に向けた多職種での取り組み

中島 雄基（社会医療法人財団 白十字会 白十字リハビリテーション病院）

P06-10-3 身体拘束ゼロの先へ

石田 有希（医療法人慶友会 城東病院）

P06-10-4 身体拘束ゼロを継続するために

－整形外科病棟における 2024 年度の実態調査－

坂本杏結実（はあとふるグループ 運動器ケア しまだ病院）

P06-10-5 他職種連携のもと身体拘束を外すことに成功した事例

村田 樹生（社会医療法人 平成医塾 苫小牧東病院 南 3 回復期リハビリテーション病棟）

9:00 ～ 9:50 [P06-11 入所系サービス / 災害関連・BCP]

座長：金森 毅繁（筑波記念病院リハビリテーション部）

P06-11-1 介護老人保健施設でのレクリエーションの拡がり ～情報端末機器を活用した取り組み～

野口 善正（はあとふるグループ 介護老人保健施設 悠々亭）

P06-11-2 見守り支援システムの導入による転倒予防の検証

宮城 太豪（医療法人徳洲会 南部徳洲会病院）

P06-11-3 四肢麻痺者一例の避難マニュアル作成と活用 第二報

伊藤 光（医療法人社団 脳健会 仙台リハビリテーション病院）

P06-11-4 岩手県大船渡市大規模林野火災に伴ういわて JRAT の活動報告

関 公輔（いわて災害リハビリテーション推進協議会（いわて JRAT））

P06-11-5 災害時の多職種連携：自地域の現状と課題

末永 輝幸（医療法人社団ゆうの会 むさしの共立診療所）

9:00 ～ 9:50 [P06-12 各種取り組み①]

座長：村田 美佳（はあとふるグループ 八尾はあとふる病院 回復期リハビリテーション病棟事業マネジャー）

P06-12-1 回復期リハビリテーション病棟における「朝夕の更衣」に関する認識調査

大長 美晴（医療法人ガラシア会ガラシア病院）

P06-12-2 当院回復期リハビリ病棟でのレクリエーションの充実に向けた活動報告

八木沼良則（平成医塾 苫小牧東病院南 4 階）

P06-12-3 当院回復期リハビリテーション病棟における、実績指数に寄与する入院時の要因について

清水 真宏（尾崎病院）

P06-12-4 回復期リハビリテーション病棟のプライマリー看護師として退院に向けた早期介入についての意識調査

奥田 朱美（神戸平成病院）

P06-12-5 家族間交流がもたらす入院患者家族の心境の変化

中林 志穂（西横浜国際総合病院）

座長：大西 和弘（秋津鴻池病院 次長）

P06-13-1 音楽と仲間をキーワードとする価値観に基づいて MTDLP 介入し、自宅退院が可能となり音楽仲間と再会できた事例

永谷 友樹（医療法人 慈圭会 八反丸リハビリテーション病院）

P06-13-2 「共に過ごす」ことの力：療養病棟における集団活動の実証的検討」

伏見 早紀（医療法人聡明会児玉病院）

P06-13-3 作業活動が交流のきっかけとなり活動性が向上した症例

井 美輝（医療法人社団 坂梨会 阿蘇温泉病院）

P06-13-4 患者のリハビリ以外の時間を充実させる取り組み

比嘉 奎介（医療法人 おもと会 大浜第一病院）

P06-13-5 訪問介護、訪問リハ、デイサービスの生活機能向上連携と自費サービスにより、IADL の改善と QOL の向上が見られた事例

伊藤健次郎（ともに行う訪問介護事業所）

座長：池内 一恵（伊予病院 看護師長）

P07-1-1 【第 2 報】経口摂取獲得に難渋した高齢嚥下障害の一例 ～栄養の観点から～

亀谷 浩史（富山県リハビリテーション病院・こども支援センター）

P07-1-2 【第 1 報】経口摂取獲得に難渋した高齢嚥下障害の一例 ～リハビリの観点から～

明 千紘（富山県リハビリテーション病院・こども支援センター）

**P07-1-3 【第 3 報】経口摂取獲得に難渋した高齢嚥下障害の一例
～目標の共有による多職種協働～**

高澤 秀幸（富山県リハビリテーション病院・こども支援センター）

**P07-1-4 口から食べるバランスチャート（KTBC）を活用し、多職種協働で摂食支援に取り組んだ一例
～経管栄養から離脱し自力摂取へ～**

地挽 愛（千葉県千葉リハビリテーションセンター）

P07-1-5 転倒を外的要因から視る

大山 紗奈（医療法人大道会森ノ宮病院 4 階西病棟）

座長：磯野 美保（医療法人福岡桜十字 花畑病院 リーダー）

P07-2-1 フレンベルグ症候群患者に ST 訓練を行い、気管喉頭分離術後に経口摂取と電気式人工喉頭での表出を獲得した 1 例

久富 優香（光風園病院）

P07-2-2 慢性誤嚥と喫煙再開が関与した嘔声再燃とその要因の検討

辻本 修（はぁとふるグループ 八尾はぁとふる病院）

- P07-2-3 自発性が低下した重度片麻痺患者に対し患者自身が自発的に取り組める訓練を行うことで ADL が向上した一症例
飯塚 陽菜（社会医療法人生長会 阪南市民病院 リハビリテーション室）
- P07-2-4 脳卒中発症後の合併症併発をきっかけに訓練意欲低下を来した患者に対して訴えの背景を考慮し介入した症例
佐々木亮輔（一般財団法人黎明郷弘前脳卒中・リハビリテーションセンター）
- P07-2-5 重度記憶障害に対するメモの活用事例
山田 美沙（医療法人社団哺育会 桜ヶ丘中央病院）

10:00～10:50 [P07-3 訪問系サービス⑦]

座長：山口 可奈（筑波記念会 介護老人保健施設 つくばケアセンター 主任）

- P07-3-1 居宅における転倒リスクアセスメントの有用性の検討
古澤 優守（聖路加国際病院 リハビリテーション科／聖路加国際病院 訪問看護ステーション）
- P07-3-2 離島で生活する右片麻痺利用者の役割獲得に向けた関わり
～楽しみとなった調理訓練が習慣化できた一症例～
村地 真彦（愛知厚生連 知多厚生病院）
- P07-3-3 訪問リハビリテーション利用者における転倒予測
ー退院前 FIM 歩行項目得点に着目してー
小泉 宏之（令和リハビリテーション病院 在宅支援部）
- P07-3-4 訪問リハ以外の時間の過ごし方
～左片麻痺を呈した症例の一介入～
渡邊 亜実（山梨リハビリテーション病院）
- P07-3-5 様々な二重課題の実施と家族の介護協力により、感情面・認知機能面に変化が見られた 1 事例
岸川恵理子（シャローム訪問看護ステーション）

10:00～10:50 [P07-4 ADL・IADL ⑦]

座長：五十嵐満哉（社会医療法人財団 恵寿総合病院）

- P07-4-1 回復期リハビリテーション病棟における更衣習得に向けた取り組み
田中悠一朗（藤田医科大学 七栗記念病院）
- P07-4-2 高次脳機能障害患者に対する食事動作へのアプローチ KT バランスチャートを用いた評価と多職種協働の取り組みー
藤元 拓磨（十条武田リハビリテーション病院）
- P07-4-3 演題取り下げ
- P07-4-4 股関節人工骨頭置換術後患者の更衣動作獲得に影響を与える因子の検討
早川 翔太（順心リハビリテーション病院）
- P07-4-5 頸部・体幹機能の低下が、食事動作の阻害因子となった一例
飯田 賢也（新宇都宮リハビリテーション病院）

座長：桑田 浩子（脳神経センター大田記念病院 課長）

P07-5-1 認知症対応型共同生活介護での「リハケアスタッフ育成」の取り組みと成果

小森健太郎（洛和介護事業部品質管理部）

P07-5-2 当院作業療法部門における臨床教育の取り組み～予後予測・目標・訓練プランに着目して～

徳賀祥太郎（医療法人社団 輝生会 初台リハビリテーション病院）

P07-5-3 作業遂行6因子分析ツール（OPAT6）を用いた事による作業療法士の分析およびアプローチの変化～当院作業療法士の調査より～

西田 紘規（特定医療法人社団勝木会やわたメディカルセンター）

P07-5-4 当法人での摂食嚥下障害研修の取り組み

君島 恵（新横浜リハビリテーション病院 リハビリテーション部）

P07-5-5 訪問療法士が退院前訪問指導に同行した取り組み

木下 真実（鳥取医療生活協同組合 鳥取生協病院／鳥取医療生活協同組合 鳥取生協病院訪問リハビリテーション事業所）

座長：阪根 寛（八尾はあとふる病院 院長）

P07-6-1 3肢及び4指欠損症例に対する義肢装着とリハビリテーションの経過

布施 将生（松戸リハビリテーション病院）

P07-6-2 右人工骨頭ステム周囲骨折術後患者に対して神経筋電気刺激療法と自主訓練指導を併用し転倒リスク軽減を図った一例

水野 快（医療法人 きたじま倚山会 きたじま田岡病院 リハビリテーション科）

P07-6-3 活動制限のある患者に対する苦痛の緩和

～頸椎骨折患者の症例を振り返る～

前川 諒子（はあとふるグループ 運動器ケア しまだ病院）

P07-6-4 免荷期間を伴う脛骨高原骨折術後に安全懸架装置を使用し歩行獲得につながった症例

大里 海（社会福祉法人 東京有隣会 有隣病院 リハビリテーション室）

P07-6-5 機械浴中の理学療法士による介入が重度要介護患者の関節可動域に与える効果

林 透弥（医療法人大誠会内田病院）

座長：桶 拓貴（恵寿総合病院 係長）

P07-7-1 歩数と機能改善および自己効力感の関係：回復期リハビリテーション病棟入院中の検討

桃原 聖弥（マッターホルンリハビリテーション病院）

P07-7-2 回復期病棟、高齢者領域における GLIM 基準での低栄養の重症度判定（SMI、下腿周囲長の基準値の検討）

井上 勇弥（医療法人大誠会 内田病院）

- P07-7-3 活動量計を用いた定量評価に基づく重度低栄養症例の栄養管理・運動療法の経験
小田 猛 (社会医療法人社団カレスサッポロカレス記念病院リハビリテーション部理学療法科)
- P07-7-4 虚弱高齢者の身体活動量の実態と日常生活動作能力との関連性
井上 凜子 (長崎記念病院 リハビリテーション部/長崎大学大学院医歯薬総合研究科 理学療法学分野)
- P07-7-5 自主練習指導の工夫により入院中の活動量が向上し順調に入院前生活に戻った一症例
富樫 健太 (医療法人社団 晃悠会 むさしの救急病院)

10:00～10:50 [P07-8 介護予防・地域支援事業・地域づくり⑤]

座長：小河 一彦 (八千代リハビリテーション病院 課長)

- P07-8-1 都市部在住高齢者を対象としたソーシャル・キャピタルに対する通いの場の有用性の検討
4年間の縦断的研究
細萱 成敏 (聖路加国際病院)
- P07-8-2 小松市介護予防・日常生活支援総合事業におけるオーラルフレイルの現状とその関連指標との関係
上地 本高 (やわたメディカルセンターやわた健康スタジオ)
- P07-8-3 当地域でみられるリハビリテーションの途中終了の原因と背景について
中畑 誠一 (北海道社会事業協会 余市病院 リハビリテーション科)
- P07-8-4 社会福祉法人眉丈会施設職員への介護予防体操指導士養成事業の取り組み
丸居夕利佳 (金沢西病院/公益社団法人石川県理学療法士会 社会事業局 地域リハビリテーション推進事業部)

10:00～10:50 [P07-9 地域リハビリテーション・地域包括ケア④]

座長：宮村 紘平 (河北リハビリテーション病院 院長)

- P07-9-1 高齢者に対するeスポーツ実施の効果について
山内結希実 (青仁会 池田病院)
- P07-9-2 転倒を繰り返す患者に対する多職種連携による退院支援
保田 直宏 (医療法人 寿尚会 洛陽病院 診療技術部 リハビリテーション科)
- P07-9-3 下リハ応援団の取り組み ～その人らしさの復権に向けて～
波多野 崇 (下関リハビリテーション病院)
- P07-9-4 ほたて養殖業従事者の肩の痛みに影響する身体的特徴と作業動作
～高齢化する地域産業の健康増進～
小谷かすみ (平内町国民健康保険 平内中央病院)
- P07-9-5 笑顔で始まる在宅生活 ～退院直後の訪問リハビリで切れ目ない生活支援を～
柘植裕里佳 (特定医療法人フェニックス フェニックス在宅支援クリニック)

10:00 ～ 10:50 [P07-10 医療安全・身体拘束関連⑤]

座長：木俣 恵（はあとふるグループ 八尾はあとふる病院 医療安全管理チームマネジャー）

P07-10-1 身体拘束低減の取り組みが看護職へ与える精神的影響の変化
～回復期病棟における質的記述的分析～

入月 幸恵（医療法人鉄蕉会 亀田リハビリテーション病院）

P07-10-2 回復期リハビリテーション病棟における身体拘束最小化のための取り組み
～経過の見える化と身体拘束解除ラウンドの効果～

岸本 綾子（医療法人篤友会 関西リハビリテーション病院）

P07-10-3 身体抑制ゼロへ！転倒転落・抑制防止チーム活動報告

高野 拳志（社会医療法人長門莫記念会 長門記念病院）

P07-10-4 回復期リハビリテーション病棟における離床センサー解除に向けた取り組み
～離床センサー解除基準を作成して～

大澤麻衣子（日本海酒田リハビリテーション病院）

P07-10-5 回復期リハビリテーション病院における転倒を繰り返す入院患者の行動分析

河内絵玲奈（富山西リハビリテーション病院 看護部）

10:00 ～ 10:50 [P07-11 終末期・緩和ケア・看取り・ACP ②]

座長：壹岐 英正（医療法人瑞心会 渡辺病院 部長）

P07-11-1 演題取り下げ

P07-11-2 脳梗塞を発症したが病前より尊厳死の宣言書を希望し延命治療を希望しなかった一例

飯田菜乃香（医療法人 光臨会 荒木脳神経外科病院 リハビリテーション部）

P07-11-3 看取り期に関する個別回想法

寶代地夢叶（はあとふるグループ 介護老人保健施設 悠々亭）

P07-11-4 希望実現モデルを用いて在宅における終末期の連携を検討した一症例

平野 明菜（医療法人 宝持会 ハリ・訪問看護ステーション）

P07-11-5 身寄りがなく理解力も低下している患者に対しての自己決定支援について
～外来看護師としてできること～

齊藤沙也花（熊本託麻台リハビリテーション病院）

10:00 ～ 10:50 [P07-12 認知症・若年性認知症・MCI ①]

座長：笠原 幸子（学校法人四天王寺学園四天王寺大学大学院 人文社会学研究科科長 教授）

P07-12-1 患者さんにおける幸せホルモンの分泌向上
～認知症カフェで笑顔とQOLの向上～

岸本 恵美（医療法人社団健育会竹川病院）

P07-12-2 「病棟デイ・みんなの会」見守り時間の有効活用へ ～看護師の取り組み～

中尾扶美子（一般社団法人 是真会 長崎リハビリテーション病院）

P07-12-3 ケアミックス型病院における院内デイケアの取り組み

ー参加者に配慮した活動内容の工夫ー

松本 生（三朝温泉病院）

P07-12-4 集団レクリエーションが精神面に与える影響

青木 尚子（森山脳神経センター病院）

P07-12-5 認知機能の変化と介護保険サービス、退院後の生活の関係性について

島田 良（上尾中央第二病院）

10:00～10:50 [P07-13 QOL ④]

座長：米田 篤史（はあとふるグループ 八尾はあとふる病院 外来リハビリテーションマネジャー）

P07-13-1 脳血管疾患患者の QOL 向上した一症例

～看護師の役割の重要性を振り返る～

牧野 澄子（広島中央リハビリテーション病院）

P07-13-2 脳卒中患者の排尿自立支援 ～間欠的自己導尿 (CIC) 管理の獲得による QOL の向上～

高橋 稔生（社会福祉法人聖テレジア会鎌倉リハビリテーション聖テレジア病院）

P07-13-3 精神状態が不安定な患者に対しその人らしさを介入に取り入れた事で良循環に至った症例

井上 泰我（袖ヶ浦さつき台病院）

P07-13-4 「セルフ・ネグレクトに対する社会参加の再構築 ～作業歴から探る作業療法アプローチの一事例～」

松原菜々未（社会医療法人 生長会 府中病院）

P07-13-5 指書き練習により AI 音声アシスタント装置の操作が獲得され QOL が向上した全盲者の症例

城戸内有紀（やわたメディカルセンターやわた健康スタジオ）

11:00～11:50 [P08-1 チームアプローチ⑧]

座長：門 翔太（社会医療法人 生長会 府中病院）

P08-1-1 グループメンバーの行動変容による整容（髭剃り・爪切り）実施率の向上

袴田 敦子（浜松市リハビリテーション病院）

P08-1-2 リハビリテーション部における 5 年目以下の職員を対象とした多職種連携研修会の実践報告

久田 勇輔（医療法人財団白十字会耀光リハビリテーション病院）

P08-1-3 地域包括ケア病棟での ADL 表の活用について

佐次田あずさ（北中城若松病院）

P08-1-4 カンファレンス後の話し合い設定とチームでの看護計画立案の取り組みにおける意識調査

額額 裕子（医療法人三九会 三九朗東リハビリテーション病院）

P08-1-5 チームの力を引き出す多職種合同カンファレンス研修の取組み

村中 大樹（一般社団法人巨樹の会 新上三川病院）

座長：榎畑 純二（恒心会おぐら病院 リハビリテーション部部長）

P08-2-1 フィードバックによる自己認識の変化が ADL 意欲向上につながった脳卒中症例

古川 覚士（イムスリハビリテーションセンター東京葛飾病院）

P08-2-2 自宅での運動支援としての YouTube 動画配信の活用

～有酸素運動と筋力トレーニングの動画の視聴傾向と患者の反応～

工藤 真斗（社会医療法人 北海道循環器病院 心臓リハビリセンター）

P08-2-3 注意障害とリハビリ拒否により介入困難を呈した症例に対する下衣操作獲得に向けた多角的アプローチ

湯ノ口希望（南国中央病院 リハビリテーション課）

P08-2-4 馴染みのある作業がせん妄症状の改善に繋がった一事例

～またピアノを弾く為に～

加藤 航平（医療法人社団 銀緑会 みどり野リハビリテーション病院）

P08-2-5 協調性障害を呈した患者様に対し、手指の巧緻性向上を目標にアプローチを行い復職が可能となった一症例

堤 鴻貴（みどり野リハビリテーション病院）

座長：布川 才浩（新上三川病院 主任）

P08-3-1 住み慣れた地域で暮らしたい。～他施設と連携を図り、訪問リハ卒業へ繋がった一症例～

小池 加恵（ふれあい訪問看護ステーション）

P08-3-2 回復期退院後の地域リハビリテーションと筋量評価継続の意義：事例報告

濱田祥太郎（吉野川病院 リハビリテーション部）

**P08-3-3 急性期から生活期まで切れ目のないリハ介入を可能とする院内連携の取り組み
～退院後のフォローアップを含めた一症例の報告～**

山口みな美（社会医療法人社団 東京巨樹の会 東京品川病院）

P08-3-4 訪問介護との連携がシャワー浴動作自立に寄与した症例

瀬川 未森（藤田医科大学七栗記念病院 訪問事業部）

P08-3-5 退院後、主婦としての役割を取り戻した一事例の考察 ～入院から在宅での継続した支援を通して～

竹田 文美（はあとふるグループ 八尾はあとふる病院）

座長：佐藤 健三（社会医療法人 近森会 訪問リハビリテーションちかもり 主任）

P08-4-1 “誰でも、どこでも、すぐ分かる” 日常生活動作 ～情報共有の視覚化とその効果～

田中 結花（医療法人幸生会琵琶湖中央リハビリテーション病院）

P08-4-2 多職種での患者の動作の共通認識に向けての取り組みの成果
～動作評価の定型文の導入から1年後のアンケートを用いて～

島居 佳奈（医療法人 鉄蕉会 亀田リハビリテーション病院）

P08-4-3 入浴動作に対するセラピスト介入体制変更の効果
—当院回復期リハビリテーション病棟入棟症例を対象とした探索的研究—

三神 駿太（社会医療法人社団 カレスサッポロ カレス記念病院）

P08-4-4 病棟看護師による機能回復支援の成果について

高原 利和（医療法人せいわ会 大阪たつみリハビリテーション病院）

P08-4-5 当院における院内デイケアの取り組み —FIMを用いた—考察について—

藤田 雄貴（安中市病院事業公立碓氷病院）

座長：乙倉 智恵（岡山リハビリテーション病院 リハビリテーション部 作業療法室 室長）

P08-5-1 “みんなで挑戦する” が力になる：リハビリテーション専門職の学会発表を促す伴走型支援

佐野 洋輔（社会医療法人社団 東京巨樹の会 東京品川病院）

P08-5-2 病棟イベント「ファッションショー」の実践とその効果
～ICFの視点から～

高島裕紀子（医療法人清水会 もりぐち清水会病院 看護部）

P08-5-3 当院、回復期リハビリテーション病棟における職員の腰痛調査についての報告

川口 大貴（佐賀リハビリテーション病院）

P08-5-4 転倒転落防止に向けた取り組み —患者の思いを調査して—

濱本利恵子（社会医療法人 愛生会 総合上飯田第一病院）

P08-5-5 地域リハビリテーション活動支援による「治し支える医療」に向けた人材育成について

金澤 真由（医療法人秀友会 札幌秀友会病院 診療支援部 リハビリテーション科）

座長：大仲 功一（医療法人 博仁会 志村大宮病院 副院長）

P08-6-1 『あなたのそばがいい』

～前立腺癌骨転移により対麻痺となるも本人希望の自宅退院が図れた事例～

小栗 美沙（牛久愛和総合病院）

P08-6-2 緩和ケア期にあるがんのクライアントへの訪問リハビリテーション実践の意味構造：M-GTAによる質的分析

村上 正和（日本医療大学）

P08-6-3 小脳梗塞後抑うつ状態となったが段階的に役割を再獲得したことで自信を取り戻した一例

太田 淳 (医療法人社団輝生会成城リハビリテーション病院)

P08-6-4 当事業所における訪問リハビリテーション利用者の死亡因子の検討

小池 岳大 (医療法人社団日高会平成日高クリニック総合ケアセンター)

11:00 ~ 11:50 [P08-7 運転と地域移動支援①]

座長：三澤 陵 (甲州リハビリテーション病院 主任)

P08-7-1 脳梗塞により右片麻痺を呈した症例の自動車運転再開にドライブシミュレーターと機能的電気刺激療法の併用が有用であった一例

松延 勇志 (社会医療法人雪の聖母会 聖マリアヘルスケアセンター リハビリテーション室)

P08-7-2 自動車運転再開支援を行った脳損傷後患者の運転実態調査

新井 千尋 (上越地域医療センター病院 リハビリテーションセンター)

P08-7-3 自動車運転再開に向けた実車評価の取り組み ～療法士視点からの検討～

北田 真紀 (社会医療法人愛仁会 愛仁会リハビリテーション病院)

P08-7-4 障がい者のその人らしい暮らしを支える運転支援
～当院の運転支援の質向上を目指した取り組み～

原口麻衣子 (医療法人共和会 小倉リハビリテーション病院)

P08-7-5 自動車運転再開の為の支援と退院後調査 アンケート調査より

村川 拓郎 (東郷会恵愛堂病院)

11:00 ~ 11:50 [P08-8 介護予防・地域支援事業・地域づくり⑥]

座長：細田 忠博 (一般社団法人茨城県リハビリテーション専門職協会)

P08-8-1 通所訪問型短期集中サービス終了後、通いの場へ移行したケースの検討

長尾 卓 (社会福祉法人愛和会 在宅サービスセンター 通所訪問型短期集中サービス)

P08-8-2 腰痛予防コンサルティング ～体づくりと環境づくりの両面から～

石田 英稔 (周南リハビリテーション病院)

P08-8-3 オムツ着用中患者の失禁関連性皮膚炎 (IAD) の発生予防に向けた取り組み

西尾 圭湖 (愛知県済生会リハビリテーション病院)

P08-8-4 地域にかかわるセラピストの役割

～通いの場での新たな取り組み健康相談を実施して学んだこと～

岩崎 多裕 (はあとふるグループ 運動器ケア しまだ病院)

P08-8-5 回復期病院における居宅介護支援事業所等との地域連携の活動報告
- 集中的な訪問リハビリテーションを継続させる重要性の共有 -

桑名 岳 (江東リハビリテーション病院)

11:00 ～ 11:50 [P08-9 障害受容・心のケア]

座長：宍戸 美保（岡山リハビリテーション病院 副主任）

P08-9-1 障害受容と新しい人生の再構築への支援
～脊髄梗塞後完全対麻痺患者への関わり～

小島 大直（医療法人社団葵会 柏たなか病院）

P08-9-2 入院患者へのケアに心理職が加わる意義と役割 –整形外科の入院患者の症例を通して–

井谷 詠夢（はあとふるグループ 運動器ケア しまだ病院）

P08-9-3 脳梗塞発症後の壮年期の患者の障害受容と意思決定～自宅退院が叶わなかった事例を振り返って

高橋 明子（医療法人社団 健育会 石巻健育会病院）

P08-9-4 重度低酸素脳症児の家族との関わりについて
一家族の障害受容、ラポール形成に沿って–

片渕 功規（熊本託麻台リハビリテーション病院）

P08-9-5 脳卒中後に抑うつを呈した患者に対するケアに関する考察 ～他職種連携を通して～

那須 春香（世田谷記念病院）

11:00 ～ 11:50 [P08-10 医療安全・身体拘束関連⑥]

座長：寺澤 慧（総合大雄会病院 リハビリテーション科）

P08-10-1 転倒率低減につながった転倒転落部会の活動報告

丸山 真範（茨城リハビリテーション病院）

P08-10-2 当院における転倒対策と転倒予測評価結果の傾向

榊原 正起（社会医療法人 長門莫記念会 長門記念病院 リハビリテーション部 作業療法士）

P08-10-3 多職種連携による転倒・転落防止対策の実践と成果の分析

清水 まみ（亀田リハビリテーション病院 リハビリテーション室）

P08-10-4 当院リハビリテーション課における転倒事故の実態

明石 美穂（福井総合病院リハビリテーション課）

P08-10-5 当院回復期リハビリテーション病棟における転倒の傾向に関する調査と夜間チェック表導入前後の比較検討

渡邊 健司（富士脳障害研究所附属病院）

11:00 ～ 11:50 [P08-11 トータルマネジメント（業務管理等）①]

座長：浅田 剛士（医道会 十条武田リハビリテーション病院 科長代理）

P08-11-1 当院における「患者情報一覧表」の改訂による実績指数への効果の検証

須田 敏幸（老年病研究所附属病院）

P08-11-2 IT を活用した業務負担軽減の取り組み - 予定調整業務の改善を図ってみて -

大西 直人（医療法人財団 慈強会 松山リハビリテーション病院）

P08-11-3 回復期リハビリテーション病棟におけるセラピストの早出勤務の導入とその評価

守屋 一憲 (十条武田リハビリテーション病院 リハビリテーション科)

P08-11-4 リハビリテーション総合実施計画書に関するマネジメントの一考察

～ブレインングマネジャーの介入による効果の検証～

澤田 祐樹 (社会医療法人昌林会 安来第一病院)

P08-11-5 回復期リハビリテーション病棟における社会参加支援班の取り組み

～社会参加に特化したカンファレンスの導入～

松岡 達司 (熊本リハビリテーション病院)

11:00～11:50 [P08-12 ロボット・治療機器②]

座長：安藤 隆 (甲州リハビリテーション病院 副院長)

P08-12-1 痙縮を伴う手関節可動域制限に対する訓練効果の比較 ―単一事例による検証―

塚田 徹 (一般財団法人 京都地域医療学際研究所 がくさい病院)

P08-12-2 VR カグラを用いて ADL が改善した進行性核上性麻痺患者の 2 症例

栗林 舞雪 (社会医療法人愛仁会 尼崎だいもつ病院リハ技術部作業療法科)

P08-12-3 BWSTT と視覚フィードバックを併用した歩行練習により歩行能力が向上した多発性脳梗塞の一症例

本田 伊織 (湯布院病院)

P08-12-4 視覚性運動失調を呈する脳出血後患者 1 例に対する Virtual Reality および単関節ロボットを使用した治療経験

平戸 大悟 (医療法人エムエム会マッターホルンリハビリテーション病院)

P08-12-5 PhysiboGait 使用後の即時的な歩行パラメーターの変化に対する考察

宮田翔太郎 (医療法人伯鳳会 明石リハビリテーション病院)

11:00～11:50 [P08-13 就労・就学支援③]

座長：菊池 隼 (仙台リハビリテーション病院 リハビリテーション部副部長)

P08-13-1 自閉症児に対する保育士のトイレ誘導の有用性について

永禮 敏江 (姫路獨協大学医療保健学部)

P08-13-2 橈骨遠位端骨折術後、日常生活指導と自主訓練併用アプローチにより職場復帰を達成した一症例

伊藤 尚輝 (公益財団法人 益田市医師会立 益田地域医療センター医師会病院)

P08-13-3 いずれ何かをやらなくちゃ

～青年期の引きこもり利用者支援を通しての一考察～

大池 義明 (医療法人社団福寿会 慈英会病院)

P08-13-4 回復期病院退院後患者の屋外リハ評価実施による就労・復学への影響について

～外来リハ、デイケア利用者の比較検討～

赤間 優 (医療法人深仁会 札幌深仁会リハビリテーション病院)

P08-13-5 医療的ケア児の保育所等訪問支援と就学支援

～リハビリテーションの視点から～

福嶋ゆかり (社会医療法人ペガサス ペガサスリハビリテーション病院／ペガサスこどもデイセンター)

13:20 ～ 14:10 [P09-1 チームアプローチ⑨]

座長：島崎 祐輝（霞ヶ関南病院 副主任）

P09-1-1 多職種連携による回復期リハビリテーション病棟の実績指数改善に向けた取り組み

島田 睦子（社会医療法人愛仁会 尼崎だいもつ病院）

P09-1-2 整形外科病棟におけるリハ・栄養・口腔連携体制加算の運用実績

－理学療法士の視点から－

桶 拓貴（医療法人財団董仙会 恵寿総合病院 リハビリテーションセンター 理学療法課）

P09-1-3 ～FIM 利得向上に向けた病棟の取り組み～

山田 和樹（五反田リハビリテーション病院）

P09-1-4 生活機能向上連携加算についての取り組み紹介

南後 主（医療法人博仁会 フロイデ水戸メディカルプラザ）

P09-1-5 介護老人保健施設 悠々亭における環境整備の取り組み

～大切な人に入所してもらいたい施設を目指して～

山崎 加奈（はあとふるグループ 介護老人保健施設 悠々亭）

13:20 ～ 14:10 [P09-2 脳卒中・神経疾患・心臓疾患等⑨]

座長：佐々木友也（仙台リハビリテーション病院 事務次長・リハ主任）

P09-2-1 排尿ケアチームの介入 ～フローを用いたチームアプローチについて～

坂本 理恵（社会医療法人大道会 森之宮病院）

P09-2-2 装具を用いて歩行再建に向けた介入

佐藤 亮太（勤医協苫小牧病院）

P09-2-3 パーキンソン病患者のすくみ足に対し即時効果が得られた一症例

上田 崇義（アマノリハビリテーション病院）

P09-2-4 都市型の家屋環境に応じた重度片麻痺患者に対する退院支援 一 家族介助下での階段昇降一

神尾 昭宏（社会医療法人 大道会 森之宮病院 リハビリテーション部）

P09-2-5 脳卒中患者を対象とした装具の有無による立位・歩行練習課題の難易度

春木 淳志（藤田医科大学七栗記念病院リハビリテーション部）

13:20 ～ 14:10 [P09-3 訪問系サービス⑨]

座長：本田 憲一（長崎リハビリテーション病院 地域リハ推進部 部長）

P09-3-1 入院患者の訪問リハビリ移行に向けた当院の連携体制について

平井 久実（北九州市立門司病院）

P09-3-2 地域在住の要支援高齢者に対する、訪問リハビリテーションの介護度変化への効果の検証と基本チェックリストの関係性

山田 剛史（鹿教湯三才山リハビリテーションセンター 鹿教湯病院 地域医療部 訪問リハビリテーション科）

P09-3-3 訪問リハビリテーションと通所リハビリテーションの併用利用に関する実態調査

～生活期における柔軟な支援の可能性～

佐藤 歩（在宅総合ケアセンター成城）

P09-3-4 当院回復期リハビリテーション病棟の退院患者における訪問リハビリテーション対象者の選定に向けた取り組み

大友 将男（医療法人社団愛友会 津田沼中央総合病院 リハビリテーション科）

**P09-3-5 介護福祉士による訪問ネイルケアが認知症高齢女性の感情に与える影響
ー改変 ARS を用いた事例検討ー**

柴崎 莉奈（介護美容体験 And.）

13:20～14:10 [P09-4 ADL・IADL ⑨]

座長：松下 武矢（長崎リハビリテーション病院 チーフ）

P09-4-1 シーティングにより車椅子自走を獲得し、歩行自立まで繋げた症例

野田凜太郎（五反田リハビリテーション病院）

P09-4-2 「入院環境によって余暇活動の制約が生じた症例に対して作業環境の支援をした経験について」

安藤 美緒（IMS <イムス>グループ イムス横浜東戸塚総合リハビリテーション）

P09-4-3 irAE 筋炎を呈した症例に対して作業選択意思決定支援ソフトでの目標設定とセルフモニタリングを活用した作業療法の実践

丸山 慶徒（桜十字病院）

P09-4-4 回復期リハビリテーション病棟における主体参加の再獲得を示した症例

松井 健次（医療法人香徳会 関中央病院）

P09-4-5 自然排便を促したい ー腸活体操の導入を開始してー

西田 有希（はあとふるグループ 介護老人保健施設 悠々亭）

13:20～14:10 [P09-5 人材育成・教育・ヘルスケア⑧]

座長：山田 和典（八千代リハビリテーション病院 リハビリテーション部 課長代理）

P09-5-1 ADL 向上を妨げる一因となっていた「過用・誤用」に対する試み

伊藤 文隆（藤井会リハビリテーション病院）

P09-5-2 「ありがとう」は自己効力感を育てるか ー感謝の視覚化が職場にもたらす変化の検討ー

松田 隼門（社会医療法人雪の聖母会 聖マリアヘルスケアセンターリハビリテーション室）

**P09-5-3 医療安全教育における TP -KYT の有効性検証
～主観評価から客観評価の転換を目指して～**

谷岡 亮平（社会医療法人財団 池友会 福岡和白病院）

P09-5-4 コグニサイズ司会者アンケートからみる法人内実践状況と研修効果の検証

麻生沙弥香（社会医療法人財団 白十字会 耀光リハビリテーション病院）

P09-5-5 Fugl-Meyer-Assessment 導入時の取り組みと課題

松坂 和哉（一般社団法人巨樹の会 新宇都宮リハビリテーション病院）

13:20 ～ 14:10 [P09-6 ロボット・治療機器③]

座長：山下 浩樹（甲州リハビリテーション病院 科長）

- P09-6-1 ADL 訓練と VR を併用することでトイレ動作獲得に繋がった症例シングルケース・スタディ
～ ABA 法を用いて～
門倉 宏和（医療法人社団高邦会成田リハビリテーション病院）
- P09-6-2 反復末消磁気刺激療法への切り替えにより普通箸での食事動作を獲得した脳卒中後右片麻痺の 1 例
阪井向日葵（一般財団法人 京都地域医療学際研究所 がくさい病院）
- P09-6-3 脳梗塞片麻痺患者にウェルウォークとカーボン製三層式後方支柱付き短下肢装具を使用することで
歩行獲得した症例
高下 栞那（医療法人五葉会城南病院）
- P09-6-4 感覚障害に対して MELTz による反復トレーニングによりスプーン操作が可能となった一事例
片桐 洋介（医療法人社団 稲仁会 旭川脳神経外科循環器内科病院）
- P09-6-5 回復期脳血管障害患者に対する歩行支援ロボット Orthobot が歩行パラメータに与える急性効果
中村 公雅（マッターホルンリハビリテーション病院）

13:20 ～ 14:10 [P09-7 運転と地域移動支援②]

座長：成田 伸夫（苫小牧東病院 リハビリテーション部チームマネージャー）

- P09-7-1 骨折術後高齢者における自転車運転再開支援の一例
－ Mini-BESTest を用いたバランス練習と段階的な自転車練習の実践－
原口 真輝（社会医療法人 雪の聖母会 聖マリアヘルスケアセンター リハビリテーション室）
- P09-7-2 誰もが簡単に使える脳卒中用の運転評価シート
三谷 俊史（医療法人徳洲会 出雲徳洲会病院）
- P09-7-3 脳卒中後のタクシー運転手における段階的運転再開支援と医療・職場連携の有効性
渋谷 太人（社会医療法人 共愛会 戸畑リハビリテーション病院）
- P09-7-4 自動車運転の再開を支援し運転再開に至ったケースと至らなかったケースの検討
杉本 敬太（京都大原記念病院）
- P09-7-5 患者の不安に寄り添った運転再開支援
～ 心理・社会的要因に着目して～
村上 恭平（佐伯中央病院）

13:20 ～ 14:10 [P09-8 各種取り組み②]

座長：井後 雅之（錦海リハビリテーション病院 名誉院長）

- P09-8-1 エーラス・ダンロス症候群患者への外来リハビリテーション支援の実施状況
西澤ひとみ（千葉県千葉リハビリテーションセンター リハビリテーション治療部）
- P09-8-2 簡易型家庭用干渉波治療器の各種疾患および唾液分泌促進に関する症例報告
辻田 純三（兵庫医科大学／健康スポーツ医科学研究所）

- P09-8-3 患者経験価値 (Patient eXperience : PX) 推進活動
患者のニーズ・価値を尊重したリハビリテーションを目指して
土田 直樹 (はあとふるグループ 運動器ケア しまだ病院)
- P09-8-4 脊椎後弯部位褥瘡に局所摩擦ずれ緩和シートが有効だった 2 症例
正壽佐和子 (社会医療法人大道会森之宮病院)
- P09-8-5 介護認定調査項目の評価結果から介護度ごとの状態像を考える
竹前 秀一 (飯山赤十字病院)

13:20 ~ 14:10 [P09-9 地域連携②]

座長：三宅 神奈 ((一社) 地域・ひと・LIFE サポート広島 代表理事)

- P09-9-1 回復期医療機関から急性期医療機関への情報提供のあり方
大垣 昌之 (社会医療法人愛仁会 尼崎だいもつ病院)
- P09-9-2 「渡嘉敷島での地域リハビリテーション支援」
～伴走型の支援を通して～
川満 朝陽 (医療法人おもと会 大浜第二病院 リハビリテーション科)
- P09-9-3 当院言語聴覚士と養護老人ホームとの嚥下障害・窒息対応への医療連携の取り組み
埜瀬 充功 (北海道社会事業協会 余市協会)
- P09-9-4 回復期リハビリテーション病棟退院時の患者状況の共有
急性期病院へありがとうを伝えたい! 「リハビリテーションのキセキ」
栗本 由美 (聖稜リハビリテーション病院)
- P09-9-5 「定期離島支援後のフォローアップについて」 ～さらなる伴走型支援を目指して～
高良康一郎 (医療法人おもと会 大浜第二病院)

13:20 ~ 14:10 [P09-10 摂食嚥下・口腔ケア④]

座長：佐藤 義朝 (いわてリハビリテーションセンター センター長)

- P09-10-1 歯科標榜のない医療法人での歯科衛生士の活動
今井優理子 (はあとふるグループ 運動器ケア しまだ病院)
- P09-10-2 医科歯科連携と回復期リハビリテーション病棟における歯科衛生士の成果と課題
～ 10 年前と現在の比較から～
後藤 佳穂 (社会医療法人敬和会大分リハビリテーション病院)
- P09-10-3 回復期リハビリテーション病棟における歯科衛生士の雇用と今後の展望
小池 奈歩 (五反田リハビリテーション病院)
- P09-10-4 回復期リハビリテーション病院における歯科衛生士の役割と今後の課題について
植田 彩子 (近森リハビリテーション病院)
- P09-10-5 成田リハビリテーション病院での歯科嚥下の取り組み
森 友紀 (成田リハビリテーション病院)

13:20 ～ 14:10 [P09-11 トータルマネジメント（業務管理等）②]

座長：前田 亮介（聖マリアヘルスケアセンター リハビリテーション室長）

P09-11-1 当院におけるレクリエーション活動の取り組みの現状と今後の課題
～知ってほしい！患者様の心を元気にする係～

中山瑠莉愛（牧田リハビリテーション病院）

P09-11-2 行動指針でチーム力を高める
～「雑談・対話・熱弁」をキーワードとした実践報告～

伊東 愛（医療法人 銀門会 甲州ケア・ホーム）

P09-11-3 リハビリテーション看護の質の向上と発展に向けて ～ISO 受審を通じて見えてきたもの～

我妻 京子（日本医療伝道会総合病院衣笠病院回復期リハビリテーション看護課）

P09-11-4 当院回復期病棟におけるリハ職の早出・遅出の導入 ～業務支援・病棟運営に着目して～

仲島 隆信（佐伯中央病院）

P09-11-5 当法人リハビリテーション部門（介護部門）におけるアウトカム指標統一の取り組み

山下 真人（社会医療法人愛仁会 尼崎だいもつ病院）

13:20 ～ 14:10 [P09-12 入院退院支援⑤]

座長：神本 綾乃（脳神経センター大田記念病院 副主任）

P09-12-1 当院の回復期リハビリテーション病棟における社会参加支援の新たな取り組み

上村 南樹（社会医療法人 令和会 熊本リハビリテーション病院）

P09-12-2 退院後生活状況調査の意義と今後の課題
～在院中の家族指導が退院後の参加・活動を促した一例を通して～

中野 宏規（社会医療法人敬和会 大分リハビリテーション病院）

P09-12-3 退院後電話訪問記録から見えてきた入院中の退院支援課題

津田 彩子（牧リハビリテーション病院）

P09-12-4 早期の家屋情報収集時期と回収率向上を目指した取り組みの成果について

田中 守（社会医療法人清恵会 三宝病院 理学療法科）

P09-12-5 多職種連携による退院後フォローアップの実践と今後の課題

谷澤 志津（操風会 岡山リハビリテーション病院 看護部）

13:20 ～ 14:10 [P09-13 住宅改修・福祉機器・環境整備]

座長：坂野 智裕（社会福祉法人 恩賜財団 大阪府済生会泉尾病院 専門副課長）

P09-13-1 “見る・触る・使う”で変わる退院支援
ー リハビリテーション室への福祉用具設置が若手療法士に与える影響 ー

田下 拓実（たちかわ訪問看護ステーション）

P09-13-2 適切な住環境調整と目標設定により在宅復帰を達成した大腿切断の症例

岡田 修平（はあとふるグループ 八尾はあとふる病院）

P09-13-3 外来リハビリテーションにおける居宅訪問の有効性：多発性硬化症患者への環境調整介入

平澤 慧太（船橋市立リハビリテーション病院）

P09-13-4 当院における退院前訪問指導の実施状況に関する調査

中村 亮太（一般社団法人巨樹の会 新上三川病院）

P09-13-5 車いす管理体制の変更による影響分析

飯田 聖良（あきしま相互病院）

14:20 ～ 15:10 [P10-1 チームアプローチ⑩]

座長：井村 沙織（小倉リハビリテーション病院 栄養科係長）

P10-1-1 ジャーニーマップ作成を通じた PX 推進活動

中本 有紀（はあとふるグループ 介護老人保健施設 悠々亭）

P10-1-2 「摂食障害を有する女子アスリートに対する多職種支援のプロセス分析」

角野 章子（はあとふるグループ 運動器ケア しまだ病院）

P10-1-3 疼痛で離床に難渋したギラン・バレー症候群患者との関わり ～孫に元気な姿で会いたい～

杉田 佐介（はあとふるグループ 八尾はあとふる病院）

**P10-1-4 脳梗塞後の認知機能低下に対する多職種連携型同一課題アプローチの有効性
—車いす駆動とスタッフコール獲得の症例報告—**

斉藤 由美（船橋市立リハビリテーション病院）

P10-1-5 「リハビリテーションチームによる障害者支援施設への技術支援」の成果報告

石丸 敦彦（横浜市総合リハビリテーションセンター）

14:20 ～ 15:10 [P10-2 脳卒中・神経疾患・心臓疾患等⑩]

座長：大澤智恵子（河北リハビリテーション リハビリテーション部 副科長）

P10-2-1 重度障害者用意思伝達装置を用いた重度心身障害者のコミュニケーション支援の一例

井上 慎一（医療法人 天心堂 志田病院）

P10-2-2 ADOC-H を活用した介入により麻痺手への認識が変化し、ADL 場面での使用が可能となった一例

坂西 有由（宝塚リハビリテーション病院）

P10-2-3 脳卒中・神経系疾患患者を対象としたポジショニングに関する多職種意識調査

佐藤佑太郎（新さっぽろ脳神経外科病院）

P10-2-4 リハビリテーション意欲向上を目的としたアクティビティを活用した介入について

川口 陽乃（東京都リハビリテーション病院）

P10-2-5 長期入院の複合疾患患者が自宅退院できた一例

池内 陽子（医療法人 せいふう会 川西リハビリテーション病院）

座長：谷川 智毅（東大阪病院附属クリニック 在宅リハビリテーション課）

- P10-3-1 知的障害を有する 50 歳代の利用者が親子同居で暮らしていくための 6 年間の訪問リハビリ介入報告
佐藤野歩人（埼玉セントラル病院 訪問リハビリテーション事業所）
- P10-3-2 「1 人でラジオ体操に行きたい」
～失語症や高次脳機能障害により外出に見守りを要した失語症例への訪問 ST の介入を通して～
太田 有香（新横浜リハビリテーション病院リハビリテーション部）
- P10-3-3 価値観に基づき設定した目標が主体的な運動習慣定着の一助となった一事例
榊原 一真（聖隷訪問看護ステーション富丘）
- P10-3-4 訪問リハビリテーションにおいて「自己決定」を尊重した介入で、生活空間が拡大した 2 症例
～ソクラテス式問答法を活用して～
荒谷 祐太（リハビリテーション部）
- P10-3-5 ADL は低下したが趣味の再開により意欲を引き出した多系統萎縮症の 1 症例
元田 直美（KKR 北陸訪問看護ステーション）

座長：串田 英之（静岡リハビリテーション病院 リハビリテーション部副主任）

- P10-4-1 通所リハビリテーションでの包括的アプローチにより社会参加を再獲得できた iNPH 患者について
小野 晴子（医療法人マックスール翼今宮病院／医療法人マックスール翼病院短時間通所リハビリテーション事業所）
- P10-4-2 入院前からのセラピスト介入を活用した退院支援の取り組み
笑喜佐恵美（はあとふるグループ 運動器ケア しまだ病院）
- P10-4-3 重度片麻痺を患い、一度は自宅復帰を諦めたが、回復期病棟での OT との関わりの中で自信をつけ、
独居生活再開を果たした症例
廣田 俊介（金沢医科大学氷見市民病院）
- P10-4-4 不安を抱える片麻痺患者の排泄自立を目指す 自己効力感に着目した看護介入の一例
中川 嘉奈子（公益社団法人福岡医療団 千鳥橋病院）
- P10-4-5 重度認知能力障害がある症例における ADL 目標の焦点化と多職種協働の意義
松本 羽純（船橋市立リハビリテーション病院）

座長：松永 玄（東京湾岸リハビリテーション病院 在宅リハ科 科長）

- P10-5-1 アンケートを活用した人工骨頭挿入術後の生活指導の有用性：一症例の経過から
山田 祥博（医療法人田中会西尾病院リハビリテーション室）
- P10-5-2 通所リハビリテーションにおけるリハビリテーション会議と訪問指導の実践により家事動作を再獲得した症例
辻村 和憲（公益社団法人 石川勤労者医療協会 介護老人保健施設 手取の里）

P10-5-3 介護者のストレスを軽減することによって在宅生活を継続している症例報告

藤井久美子（ケアリゾート金光 通所リハビリテーション）

P10-5-4 短時間通所介護事業所と訪問リハビリテーションの連携によって、意欲の向上につながった症例

長濱 裕樹（医療法人下地診療所 アルケー・クラセー那覇）

P10-5-5 課題指向型の自主トレーニングを実施したことで社会参加に繋がった一症例

小杉雄太郎（浜松市リハビリテーション病院）

14:20～15:10 [P10-6 認知症・若年性認知症・MCI ②]

座長：岸川恵理子（シャローム訪問看護ステーション）

P10-6-1 認知症患者に対し A-QOA を用いて質の高い活動を評価・伝達し、安心できる環境を多職種で提供した結果 BPSD が改善した事例

岩間穂乃実（IMS グループ 医療法人社団 明生会 イムス札幌リハビリテーション病院）

P10-6-2 回復期リハビリテーション病棟における BPSD に対するケアバンドルの提案

宇佐美 諭（医療法人社団健育会竹川病院）

**P10-6-3 当通所リハビリテーション MCI 基準該当者の 1 年後の推移と特徴
ー1 年以上利用者の結果よりー**

斉藤 弘匡（社会医療法人社団カレスサッポロ よつば家庭医療クリニック 訪問リハビリテーション科）

P10-6-4 地域包括ケア病棟での集団活動の関わり - 集団活動が与える効果とその考察 -

堀井佳央里（医療法人社団 常仁会 牛久愛和総合病院）

P10-6-5 認知機能がうつを招く？当院回復期リハビリテーション病棟における脳卒中後うつの現状

中野 亜紀（森山脳神経センター病院）

14:20～15:10 [P10-7 チームアプローチ⑪]

座長：山下 知映（西宮協立リハビリテーション病院 リハビリテーション部 理学療法科 係長）

P10-7-1 攻めのリハにより重度脳血管障害からその人らしさを取り戻した多職種ワンチームの実践

仲間嵯七美（ねりま健育会病院）

P10-7-2 看護スタッフとの連携により、ADL 全介助レベルから訴えに合わせたトイレでの排泄動作が可能となった若年の右視床出血の一例

石井 竣太（新久喜総合病院）

P10-7-3 チームアプローチにより不穩の改善と意欲向上し自宅退院に至った症例

富田ゆかり（熱川温泉病院）

P10-7-4 重度片麻痺患者と家族の想いに寄り添い、多職種で自宅退院に向けてチームアプローチを行った一症例

土橋 裕太（甲府城南病院）

P10-7-5 認知機能低下に加え重介護状態にある患者と、高齢の主介護者の自宅退院の願いを叶える関わり

山田 健治（医療法人社団 健育会 湘南慶育病院）

座長：高橋 佑子（筑波記念会 介護老人保健施設 つくばケアセンター）

**P10-9-1 回復期リハビリテーション病棟における看護管理者の役割
～家族支援、退院支援の一症例を通して～**

永野 聖子（医療法人篤友会 関西リハビリテーション病院）

P10-9-2 脳卒中と癌を抱えた患者を支える妻との関わり ～自宅退院への思い～

工藤 大輔（一般財団法人黎明郷 弘前脳卒中・リハビリテーションセンター）

P10-9-3 ADL 全介助を呈した脳卒中患者に対し、多職種から家族指導を行い自宅退院に至った症例

齋藤 菜緒（新宇都宮リハビリテーション病院）

P10-9-4 回復期病棟退院後の介護負担感と介護者要因の関連

三浦 祐一（医療法人喬成会花川病院リハビリテーション部）

座長：椎名 英貴（森之宮病院 法人リハビリテーション部 統括管理者）

P10-10-1 看護師における摂食機能療法の現状と課題

土橋 英子（医療法人 銀門会 甲州リハビリテーション病院）

P10-10-2 「口から食べる」を支援する多職種連携の実践的取り組み

我謝 翼（医療法人タピック 沖縄リハビリテーションセンター病院）

P10-10-3 食事介助スキルスコア（FASS）を活用した食事介助技術向上への取り組み

平 しのぶ（医療法人真正会霞ヶ関南病院）

P10-10-4 大腿骨頸部骨折術後患者におけるポジショニング調整前後の嚥下機能の変化について

森川 麻衣（浜脇整形外科病院）

P10-10-5 整形外科病院の言語聴覚療法新規開設における報告

工藤久美子（医療法人知仁会 八木整形外科病院）

座長：室谷健太郎（はあとふるグループ 八尾はあとふる病院 回復期リハビリテーション病棟 セラピスト担当）

P10-11-1 組織理念や部署目標の共有が職員意識に及ぼす影響

吉岡 博史（一般社団法人 巨樹の会 松戸リハビリテーション病院）

P10-11-2 疾患別評価セットの試用と今後の課題

湊 哲至（医療法人せいふう会 川西リハビリテーション病院）

P10-11-3 リハビリテーションの継続を意識した感染対策の構築

石山 志乃（イムス板橋リハビリテーション病院）

P10-11-4 AI を用いた回復期リハビリテーション病棟入院患者の退院時運動 FIM 予測の検討

村上 賢治（桜十字病院 リハビリテーション部）

P10-11-5 理事長の想いの実現に向けた 3 年間の集大成
～ 3 年間の活動を振り返り来年度に向けてやるべきことを考える～
中村 嘉貴 (医療法人三九会三九朗病院)

14:20 ～ 15:10 [P10-12 入院退院支援⑥]

座長：山崎 卓 (はあとふるグループ 介護サービスセンターはあとふる 管理者)

P10-12-1 大腿骨転子部骨折患者の退院支援に対する納得を導き出す要因の検証
森上 雅美 (東京都リハビリテーション病院)

P10-12-2 「短く・深く・漏れなく」理想的な退院支援カンファレンスを
～カンファレンス用紙が与える影響～
玉木 孝人 (伊勢ひかり病院)

P10-12-3 回復期リハビリテーション病棟における看護師の経験年数による退院支援の傾向
上田 僚 (NTT 東日本伊豆病院)

P10-12-4 円滑な入退院調整を目指して ～ 1 年間の退院調整の取り組み～
明石 道子 (西淀病院回復期リハビリ病棟)

P10-12-5 退院前家屋調査への訪問リハスタッフの同行 ～当院の取り組みについて～
福本美奈子 (医療法人せいふう会 伊丹せいふう病院)